おがつ いしのわ

雄勝いしのわプロジェクト

平成 26 年 9 月 24 日発行

No.6

～雄勝石産業を核とした場づくり、モノづくり、人づくり

雄勝パーゴラ設営

スペイン・バルセロナ
「東北への道 - 自然・伝統・イノベーション -」出展

熊本県伝統工芸館
現地視察同行及び展示会打ち合わせ

雄勝石を使ったモノづくりワークショップ
（卸町５丁目仮設住宅にて）

雄勝プロジェクト食のワークショップ
（公益財団法人　みやぎ・環境とくらし・ネットワークMERON参画）

うにまつり支援

熊本県伝統工芸館　現地視察同行及び展示会打ち合わせ

震災後の工芸産地の販路がとざされたことにより、かねてより本学との関係のある熊本県伝統工芸館に復興支援展示販売会の要請を行ってきました。その結果、今年 11 月 18 日～ 24 日まで工芸館主催による展示会が開催されることとなりました。今回は福島館長と池田学芸員が被災地工芸産地の現地視察を行いたいとのことから、宮城県内の「手しごと AKIU」「雄勝硯生産販売協同組合」「津山木工芸品事業協同組合」「鳴子漆器協同組合」「岩出山竹細工生産組合」「鳴子木地玩具協同組合」を 2 日間でまわり、各産地の作り手とのやりとりを行いました。特に雄勝硯生産販売協同組合では、スレート屋根の写真展示や生産工程をじっくりと見ていただきましたが、魅力的な資源が多々あったことに二人は感激しておられ、ますます 11 月の展示会に向けての充実化を目指すことにしたいとのコメントをいただきました。

雄勝プロジェクト食のワークショップ（公益財団法人　みやぎ・環境とくらし・ネットワークMERON参画）

本ワークショップは、雄勝の食文化を伝承しつつ再生を目指そうとしている「おがつスターズ」の食に触れ、これからの雄勝地域の再生を一緒に考える目的で行われました。MELON（みやぎ・環境とくらし・ネットワーク）の参加者は 22 名、震災後の雄勝地区に初めて入った方々もおり、現地の被災状況を視察しその後に、おがつスターズのオリジナル料理を食し、作り手のお母さん達との意見交換を行いました。料理に対しては大変美味しいとの声がほとんどであり、もっとアピールしてほしいとのことでした。尚、おがつスターズは、今後古民家を再生した漁家レストランを 2 ～ 3 年後に立ちあげたいとのことであり、雄勝石を使用した食器とのコラボレーションも視野にいれているとのことでした。

雄勝パーゴラ設営

前号で紹介した仮設工房は 6 月 1 日にオープンしましたが、工房間を作業しやすくすることや夏場の強い陽射しよけが不可欠なことから回廊型のパーゴラを学生と教職員の手作りで作ることにいたしました。実施日は 9 月 3 日、4 日の 2 日間で素人集団による製作であることから、地元大工棟梁の下村氏の協力を得ての作業をしました。一番苦労したところは、独立基礎設置で、そもそもこの地は、元総合支所があったところで、基礎部の残骸があったり、砕石が厚く、つるはしでの掘り起こし作業が長く続きました。何といっても基礎がしっかりしないと上部がゆがむことから、学生全員がつるはしとスコップを使って汗だくでの作業となりました。木部製材はこれまで本学と長いお付き合いをしている津山木工芸品事業協同組合元理事長である西條孝一氏が手掛けている製材所で学生と教員も参加しての 8 月 21 日からの作業でした。インターシップの受け入れ先でもあり、何かにつけてお世話になっているところです。いずれにせよ雄勝の他に関連する周辺地域の方々、地元の大工の方々の協働による作業であり、感謝しております。今後はＣ棟全体前まで延長する計画も視野に入れております。

スペイン・バルセロナ「東北への道　- 自然・伝統・イノベーション -　」出展

この展示会は、支倉常長の渡西 400 年を記念に、復興支援とビジネス交流事業を目的に、NPO 団体「支倉プログラム」からの呼びかけによりスペイン・バルセロナ開催されたものです（展示会場：パラウロベルト、期間：7/3 ～ 8/31）

宮城県内各地から、漆器、木工品、こけし、織物、焼き物など伝統工芸品の数々が出展され、雄勝地区からも玄昌石の石皿や伝統の「硯」各種を出展しました。オープニング式典には、雄勝硯生産販売協同組合理事長の澤村氏も参加し雄勝石を薄く割るスレート割りの実演を行いました。現地プロダクトデザイナーや工芸職人、学生も交えたワークショップ・セミナーも行われ、会場内から非常に大きな反響を頂きました。　今回の取組が、復興支援の一助となること、そして日本の伝統工芸を知ってもらうことで国境を越えた新たな交流の息吹となることを期待します。

澤村氏からは次のコメントを頂きました。

「雄勝石を通し、復興からの歩みと、工芸品のイノベーションを共有できる機会を得られたことに感謝します。今後も、海外との交流を通じ、雄勝石を広く発信できる場を作っていきたい。若手のデザイナーやバルセロナ在住のデザイナーとの交流で、伝統を大切にしつつも、新しいモノづくりに挑戦をしていきたいと思います」

雄勝石を使ったモノづくりワークショップ（卸町 5 丁目仮設住宅にて）

昨年に続き、若林区中央市民センターからの仮設居住者への支援要請を受け、9 月 6 日に卸町 5 丁目仮設住宅集会所にて菊地・伊藤研究室学生が参画してワークショップを実施しました。内容は、雄勝石の未利用材を活用し、器や写真立て等のモノづくりを行いました。参加者は 3 歳～ 80 歳代の男女約 20 名。皆さんは 2 時間半程熱中して各々オリジナルなモノづくりを行い、満足感あふれるコメントが多く、また作りたいとの声もありました。尚、未利用材活用としてキット商品化を目指す私どもにとって実現化の目途が見えた気がします。

うにまつり支援

6 月 29 日、おがつ店こ屋街で行われたウニまつりには、大雨の中での開催にもかかわらず、朝早くから大勢のお客様がお越しになりました。粒が大きく新鮮なウニが詰まった箱をいくつも重ねて購入される方が多くいらっしゃいました。雨の降る中、学生と一緒に本学の宮城学長も参加し、駐車場誘導や列の整理、ウニ運びや受け渡しなど、地元民との協動によるまつりの支援となりました。雄勝のウニを食べる（生きたウニの殻をむく）のに苦労した学生も多かったようですが、あれほど甘くやさしい味のウニを食べるのは初めてだったようです。

活動記録

2014

6/1　雄勝仮設工房オープニングセレモニー
6/2　河北新報記事掲載（雄勝の手仕事発信）
6/2　朝日新聞記事掲載（雄勝硯、新工房完成）
6/5　河北新報記事掲載 (交通ルールを守って）
6/12　河北新報記事掲載 (雄勝の特産品販売）
6/13　雄勝石を使ったモノづくりやカスタマイズに向けての現地調査と作業
6/18　河北新報記事掲載（復興まちづくり発信）
6/19　河北新報記事掲載（被災した屋根瓦活用し制作）
6/21　雄勝プロジェクト打ち合わせ
6/23　雄勝プロジェクト内部打ち合わせ
6/24　河北新報記事掲載（新鮮　雄勝産ウニ直売）
6/29　おがつウニまつり支援
6/30　河北新報記事掲載 (テーブルを彩る仙台銘菓）
7/2　河北新報記事掲載（雄勝産ウニ　人気の証明）
7/3　バルセロナ展示会スタート（オープニングセレモニー出席）
7/3 ～ 8/20　（バルセロナ展示会出展）
7/8　雄勝プロジェクト内部打ち合わせ
7/10　河北新報記事掲載（石巻地域３市町産業再生を視察）
7/10　河北新報記事掲載（根本復興相が被災地視察　雄勝石食器で舌鼓）
7/11　雄勝プロジェクト打ち合わせ
7/12　河北新報記事掲載（被災地良品をどうぞ）
7/14　河北新報記事掲載（見えぬ目的　募る不信）
7/18 ～ 7/20　熊本県伝統工芸館　現地視察同行及び展示会打ち合わせ
7/24　雄勝石を使ったモノづくり WS に向けて打ち合わせ
8/7　雄勝プロジェクト（場づくりワークショップ）
8/21 ～ 22　雄勝インターンシップ
8/21 ～ 22　雄勝プロジェクトの場づくり・モノづくりや
カスタマイズに向けての現地調査と作業
8/27 ～ 29　雄勝スタディーツアー　参加
8/30　雄勝プロジェクト食のワークショップ
（公益財団法人　みやぎ・環境とくらし・ネットワークＭＥＲＯＮ参画）
9/3 ～ 4　仮設工房周辺の場づくり調査やカスタマイズ作業
9/6　雄勝石を使ったモノづくりワークショップ（卸町５丁目仮設住宅にて）

学生インターンシップ

モノづくりワークショップ

学生石磨きボランティア

編集後記

2 年目に本プロジェクトの上半期では、国の支援を受け仮設工房をオープンしたことと、それに伴い生産設備も整い商品づくりができていることが最大の特徴と言えます。ただし、作り手の人数が限られており、ボランティアも含めた人的確保が現在の課題です。従って、本プロジェクトでは、販路拡大と生産体制づくりを組合と連携しつつ、進めていくことになります。

（菊地　良覺）

雄勝いしのわプロジェクト
～雄勝石産業を核とした場づくり、モノづくり、人づくり～

発行元 : 東北工業大学
ライフデザイン学部　安全安心生活デザイン学科

〒982-8588　宮城県仙台市太白区二ツ沢６番
TEL: 022-304-5592　FAX: 022-304-5591
MAIL: info@ogatsu-ishinowa.jp　URL: http://ogatsu-ishinowa.jp/

＊本プロジェクトは「雄勝石産業の復活を核とした生産とくらしの再生」をテーマに
三井物産環境基金 2012 年度下半期活動助成（復興助成）の採択を受け活動を実施しています。